核兵器のない世界へ、新たな行動を　　「核の傘」ノー、戦争しない日本を

2016 年 3･1 ビキニデー北海道集会

日時:2016 年 2 月 19 日(金)18 時 30 分

会場:かでる2･7　710研修室

中央区北 2 条西 7 丁目　℡231-4111(代表)

参加費:500 円

追悼の部　　原水爆犠牲者・全戦争犠牲者葬儀

(読経　献花　平和への願い)

講演の部　　講師　山下正寿さん(太平洋核被災センター事務局長)

テーマ　『ビキニ事件は終わらない

…そしてフクシマ　』

◇山下正寿さんプロフィール

1945 年生まれ、高知県宿毛市在住。元高校教師。『高校生平和ゼミナール』の高校生たちとともに、1985 年からビキニ水爆実験の被災者の聞き取り調査に取り組んでいる。2014 年ついに厚労省に第五福竜丸以外の放射能検査の文書を初めて公開させる。

映画「放射線を浴びた～X 年後～」(南海放送)に出演。

著書に「核の海の証言」(新日本出版)。

3・1 ビキニデー全国集会代表団紹介

主催/3・1 ビキニデー北海道実行委員会　℡011-747-7557　北海道原水協気付

3.1 ビキニデー北海道集会・プレ映画会

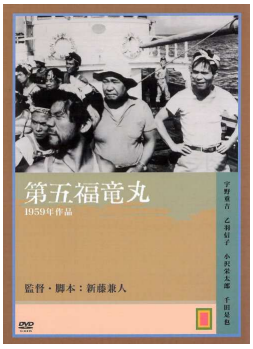
日　時：2016 年 2 月 4 日（木）14：30～

会　場：エルプラザ 2 階・環境研修室 2

資料代：300 円

14：00～映画「第五福竜丸」

1958 年制作/新藤兼人監督

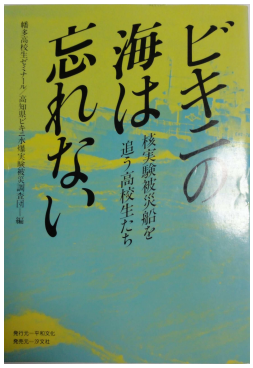


17：00～「ビキニの海は忘れない」

森康行監督

ナレーション吉永小百合

地元に広島・長崎の被爆者だけでなく、ビキニ水爆の被災者がいる…隠された核被災を追跡する高校生たち。



18：30～「わしも死の海におった」

南海放送制作

被災漁船の実態を調査している高知県の調査団（高知の幡多高校生ゼミナールが地域のビキニ被災船調査を開始。それまで封印されていたもう一つのビキニ事件に光を当てた）を取材。